

国際交流センターだより

TOPICS: 海外リサーチ・クラークシップ成果報告

海外リサーチ・クラークシップ参加後に研究活動を継続している本学学生(未来基礎医学所属)の研究成果が、共著論文として発表されました。

ご指導を賜りました梅溪通久先生(米国・ヒューストン大学)、高里実先生(理化学研究所)をはじめ、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

FASEB Journal

doi: 10.1096/fj.202002077R (オンライン掲載)
27-Hydroxycholesterol regulates human *SLC22A12* gene expression through estrogen receptor action.
坂口義彦(医学科6年)、長田理瑚(医学科5年)

MESSAGE

ヒューストン大学
Assistant Professor

梅溪 通久

この度、私達の共同研究の成果が FASEB Journal に掲載されました。私は 2019 年夏に奈良県立医科大学を訪問し、森先生や筆頭著者の松林さんや坂口さんなどラボの方々とのディスカッションさせて頂き、皆さんの研究に対する熱意に感銘を受けました。この共同研究を通じて、国際的な研究者として活躍されることを期待しています。



ジャーナルに掲載されて ～海外リサクラとその後の研究活動を通して経験したこと～

医学科6年
坂口 義彦



海外リサクラでシンガポールの南洋工科大学に、その後の研究は本学の未来基礎医学でお世話になって、研究活動を行ってきました。大学の海外リサクラという制度を利用した留学から始まった私の研究活動ですが、初めは研究といっても漠然としてぼんやりとしたものでした。しかし、6年生の今では2年生のリサクラ前の当時では想像がつかない輪郭が徐々に見えるようになってきました。今後、更にどう鮮明になっていくかが大変楽しみです。留学時に金銭的な支援を頂いた未来への飛躍基金、留学中にお世話になった南洋工科大学の田代歩先生、今まで本学の研究で御指導いただいた森先生をはじめとする多くの先生に感謝申し上げます。

医学科5年
長田 理瑚



海外リサクラで台湾大学に留学させていただき、その後は未来基礎医学でお世話になり研究活動を行っています。留学中には、様々な実験や英語でのプレゼンを経験させていただきました。また、研究室の方々とお話することで台湾の文化に触れることもでき、大変有意義な留学生活でした。未来基礎医学では今回のプロジェクトをはじめ、様々な研究プロジェクトに参加させていただいており研究の面白さを感じています。この場をお借りして、留学時にご支援をいただいた未来への飛躍基金、森先生をはじめとする未来基礎医学の先生方に感謝を申し上げます。

MESSAGE

国際交流センター
副センター長
森 英一朗

(未来基礎医学准教授)

本論文は、大学院生の松林成也さんと医学科6年生の坂口さんが共同筆頭著者として取り組んだ研究成果になります。米国・テキサス州・ヒューストン大学の梅溪通久先生と理化学研究所の高里実先生との共同研究によって、研究成果をまとめることが出来ました。医学科5年生の長田理瑚さんも、論文投稿プロセスを通じて、本プロジェクトに参画しました。海外リサーチ・クラークシップの経験を経て、プログラム参加後も積極的に研究活動に取り組み、学会発表や論文執筆に取り組む姿は非常にたくましく、本学の研究マインド醸成教育の取り組みが着実に実を結んでいることを実感できます。



安全保障輸出管理への取り組みがスタートしています

安全保障輸出管理とは

安全保障輸出管理とは、日本を含む国際的な平和及び安全の維持を目的として、武器や軍事転用可能な貨物(装置・試料等)及び技術を大量破壊兵器の開発等を行っている国やテロリスト等の手に渡ることを防ぐための管理制度です。本学では、令和2年4月1日からスタートしました。

学内手続きの流れ

大学には関係ない規制と思われるがちですが、例えば研究活動においては、技術提供や貨物輸出の機会があり、規制の対象となります。

学内における管理手続きとしては、取引をおこなう教職員各自が事前確認チェックを行い、チェックシート等を所管課に提出してください。様式等は学内ホームページ▶国際交流センター▶安全保障輸出管理に掲載しています。

■審査受付の状況 (令和2年12月28日現在) (件)

	輸 出			受 入	合 計
	海 外	国 内			
		貨 物	技術の提供		
教養教育		2	20		22
基礎医学		6	412		418
臨床医学	1	5	1,015	14	1,035
看護学科			16		16
中央部門			56	1	57
寄附講座等			24		24
その他			47	1	48
総 計	1	13	1,590	16	1,620

お問合せ：国際交流センター (内線 2565、2479)

奈良県立医科大学 奈良健康フェア 2020をWeb開催しています

開催期間 2020年9月15日(火)～2021年9月14日(火)

Web開催 URL: <https://nara-kenko-fair.com/>

奈良健康フェアは奈良県立医科大学の主催で、お子さんからお年寄りまで、家族みんなが健康でハッピーになれるような情報をお届けすることを目的に2016年から実施しています。例年、イオンモールにて開催しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を考慮し、本年はWebでの開催とさせていただきます。



感染症対策の他、大人の健康情報、子ども達の健康教室、奈良医大関連の情報など満載です。本企画のテーマである“新時代の生き方～健康にチャレンジ”の知識と実践により、皆さんのこころとからだの健康の一助となればと思います。どうぞお楽しみください。

9.3 高度医療技術修得者の認定証 交付式について

本院では、平成22年6月から医療機器の多様化・高度化に対応できる、より専門性の高い臨床工学技士「高度医療技術修得者」を、全国に先駆けて当院独自で養成しています。また、平成30年4月からは、本学大学院看護学科研究科修士課程に「周麻酔期看護師教育課程」を設置し「周麻酔期看護業務に関する高度医療技術修得者」を養成しています。

今回、臨床工学技士3名及び看護師2名がそれぞれの課程を修了し、高度医療技術修得者養成認定審査委員会の認定審査を経て、9月3日に吉川病院長から認定証が交付されました。

これにより総勢11名の臨床工学技士と2名の看護師が、高度医療技術修得者として麻酔科医と共に周術期領域で活躍し、医師の働き方改革におけるタスクシフトの推進に貢献しています。

高度医療技術修得者認定証交付者



臨床工学技士
(麻酔アシスタント業務)

令和元年度

服部 幹太

令和2年度

木場 康介 榎野 将太



看護師
(周麻酔期看護業務)

令和2年度

佐藤 真理子

岡本 直子

10.8

奈良臨床漢方医学セミナー (泌尿器科領域編)を開催しました

今回のセミナーは、新型コロナウイルス感染症対策のため、ZOOMでのウェビナー形式と、サテライト会場での会場参加形式で行いました。

本学泌尿器科学 藤本教授の司会で、信州大学医学部 泌尿器科学教室 皆川講師に「泌尿器科の漢方治療～伝統医療を用いた新戦略～」というテーマで講演いただきました。

がん患者の全身倦怠感への漢方の効果について、クイズも交えながら講演され、参加者は興味深く聞いておられました。

当日はWebだけでなく、会場にも多くの方が参加されました。

今後も、新しい形式でのセミナーを開催したいと考えております。多くの方のご参加をお待ちしております。



泌尿器科学 藤本教授

リサーチクラークシップから 論文掲載へ

医学科4年 水谷 彩乃

2018年度リサーチクラークシップで産婦人科学教室において参加させていただきました。「GSK-3β mediates the effects of HNF-1β overexpression in ovarian clear cell carcinoma」と題し、「Experimental and therapeutic medicine 第20巻5号122」に共著者として掲載されました。研究の方法や手技など何も分からないところからの出発でしたが、温かく丁寧なご指導により、リサーチクラークシップを無事に終了し、その後も研究に参加することができました。今回のリサーチクラークシップを通して研究に必要な手技などに加え、医学研究の面白さや同時に大変さも感じることができました。ご指導いただきました河原直紀先生をはじめ産婦人科学教室の先生方に厚く御礼申し上げます。